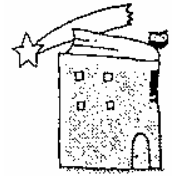


ディボーション質問表



4日(日)先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

5日(月)ヨハネの福音書 20:1~31

1. イエス様は、死に、復活されたことを証明するため、何をされましたか？ マリア、弟子たち、トマスといかに様々な方法でご自身を表されたかを発見しましょう(1~29節)
2. ヨハネの福音書が書かれた目的は何ですか(30~31節)？

6日(火)ヨハネの福音書 21:1~25

1. イエス様は復活して後、どのようにテベリヤにて弟子たちにご自身を表されたか発見してください。
2. イエス様はベテロに何をなさいましたか？ なぜイエス様はあのようなことを仰ったのでしょうか？ イエス様が私たちのすべき働きについて語ったことを実践しましょう(15~19節)
3. 誰がこの書を書いたのでしょうか？ イエス様は弟子たちと共にいる中で、どれほど多くの業を行われたのでしょうか(24~25節)？

7日(水)列王記第二 2:11~25

この書の時代の後半でアッシリヤとバビロンに捕囚された人々にもこの書は伝わり、彼らが自分達の歴史を知る重要な情報源となりました。神の力と摂理を表す事件が多く描かれ、エリヤの後継者として登場してくるエリシャの活躍は私たちの信仰を鼓舞してくれます。

1. エリヤは天に引き上げられ、エリシャは彼の外套を得ました。同時にエリヤの霊が彼にとどまり、その活躍が始まります。このことはバプテスマのヨハネとイエス様との関係によく対比されますが、このときのエリシャの行動とイエス様との類似点をいくつか発見してみましょう。
2. エリシャが流産の町の水を清めた事、またベテルでの雌グマ襲来事件を通して、神の権威のついて考えてみてください。神の権威のもとにある事はわたしたちにどんな恵みと責任をもたらしますか。

8日(木)列王記第二 3章

1. ヨラムとヨシャパテ、エドムの王は共にモアブに戦いを挑みます。エリシャは彼らに神の言葉を伝え、彼らは勝利します。この勝利から神のやり方や御性質を見つけ出してください。人の方法や常識と何が違うと思いますか。
2. モアブの王は自分の長男を殺し、それによって民はイスラエルに対して怒った、とありますがこれは戦闘時の異常事態を想像させます。あなたは似たようなことを見聞きしたことはありますか。またここにどんな人の罪を見出しますか。

9日(金)列王記第二 4:1~30

裕福な人にも貧しい人にも等しく働かれる神様のみ業を見ることができます。

1. 預言者学校の女性はどくなりましたか(1~7節)？
 - a. 彼女は、貧しく何だけがありましたか(2節)？ 油は霊的にどのような意味があるのでしょうか？
 - b. エリシャはどのような指示をしましたか(4~7節)？ 近所から借りてきた空の器の霊的真理は何だろう？
2. 子どもがいない裕福な家庭にエリシャはどのような祝福を与えたのでしょうか(8~30節)？
 - a. 神の人に彼女はどのように接しましたか(8~10節)？

今日私が助けることができる神様のために働いている人はだれだろう？
 - b. 彼女は息子が亡くなる事件に対してどのようでしたか(22~30節)？

今日、彼女のような強い気持ちでとりなすことはあるだろうか？

10日(土)列王記第二 4:31~44

1. 死んだ息子はどくなりましたか(31~37節)？
2. 預言者の群れは食事に四苦八苦ししています。どのようにしてですか(38~44節)？

35節、44節の奇跡は、主イエス・キリストがされたものに似ていますし、エリシャの奇跡が一般大衆の必要に答えているように、イエスさまの奇跡も大衆の必要を満たすものでした。救い主は、日常の小さな必要にも応えてくださるのです。